

IRコンテンツ収集法講義



2007.1.29 HARP第2回勉強会

お話しすること

- 何を集めるのか
- 紀要の集めかた
- 学術雑誌論文の集めかた
- その他のコンテンツの集めかた
- 研究者へのアプローチ

2007.1.29 HARP第2回勉強会



IRに登録するコンテンツとは

- 電子化された
- 一次情報
 - 書誌情報だけではIRと言わない。
- 自学の教育研究成果
 - 自学をアピールするものならなんでも。
= 電子図書館

何を登録するかは大学ごとに違ってよい。

2007.1.29 HARP第2回勉強会



広島大はとりあえずなんでも

学術雑誌論文 (548) 学内刊行物(紀要等) (1273)
学位論文 (35)
修士論文/卒業論文 (3) プレプリント (10) 会議発表論文 (52)
プレゼンテーション資料 (25) 科研費報告書 (19)
テクニカルレポート/ワーキングペーパー (1)
単行書 (18) 単行書の章 (7) 電子教材 (14)
コレクション-教科書 (5607) コレクション-今中文庫 (26)
コレクション-角筆 (1)

2007.1.29 HARP第2回勉強会



IRと著作権

IRに登録することとは、

著作権者がその権利(複製権・公衆送信権)を
行使すること。

(図書館に権利が移るわけではない。)



著作権者が誰なのかを見極めることが
コンテンツ収集のスタートライン。

2007.1.29 HARP第2回勉強会



まずは 紀要

- 著作権
編集委員会か著者か、著作権規程を確認。
明記されていないケースがほとんど。
(規程自体がないことも) →その場合は著者
- 紀要の考え方
分野によって大きく違う。
人文系は重要視している。

2007.1.29 HARP第2回勉強会



紀要の集め方その1：NII-ELS

- NII 学術雑誌公開支援事業データを提供してもらおう。(CiNiiで検索できる紀要データ)

<http://www.nii.ac.jp/nels/index.html#supply>

申請書提出後、数週間かかるが、一括でもらえる。
条件有り。

(国立情報学研究所において電子化した旨を明示すること。
サービス提供の際は無償とすること。利用者によりデータの
改竄や盗用等が発生しないように注意喚起すること)

著作権についてはクリアと考えてよい、はず。

2007.1.29 HARP第2回勉強会



紀要の集め方その2：編集委員会

紀要をまるごともらうよう編集委員会と交渉

- 紀要の印刷時、印刷業者から副産物的にPDFを納品してもらおうのがてっとり早い。
(印刷業者によっては無料のところも)
- 残部をもらって地道にスキャンする。
(切断してスキャンした方が見開きよりきれい)
- NII-ELSを斡旋する。

著作権者の許諾処理＝投稿規程明記が効果的

2007.1.29 HARP第2回勉強会



投稿規定記載例

例1) 著作権は著者

〇〇紀要に掲載された論文の著作権は、当該著作物の著者に帰属する。ただし、〇〇紀要編集委員会は、〇〇紀要に掲載された論文を電子化し、公開することができる。

例2) 著作権は紀要編集委員会

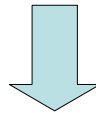
〇〇紀要に掲載された論文の著作権は、〇〇紀要編集委員会に帰属する。ただし、著者は著作権が学会に帰属する著作物を自ら利用することができる。

2007.1.29 HARP第2回勉強会



バックナンバー

過去のすべての著者に
個別に許諾を取るのは無理。



- ・編集責任者の一存により、電子化を許可する。
- ・該当の紀要の最新号等に電子化許諾の告知を出す。

2007.1.29 HARP第2回勉強会



紀要の集め方その3：個人的に

- 著者に著作権のある紀要
- 研究者の主催する研究会の刊行物
について

論文単位でファイルをもらう。

2007.1.29 HARP第2回勉強会



学術雑誌掲載論文の著作権

- 海外の出版社・学会
ほとんど版元に著作権が譲渡されているが、
94%のジャーナルが、一定の条件(著者原稿)をセルフアー
カイブすることを認めている。
- 日本の出版社・学会 も徐々にその方向。

中には、出版社版
(電子ジャーナル)を
そのままアーカイブ
できるところもある。

← これを狙う

2007.1.29 HARP第2回勉強会



許諾確認作業

- 海外出版社・学会
SHERPA :セルフアーカイビングまとめサイト
<http://www.sherpa.ac.uk/romeo.php>
- 国内学協会
著作権の取扱いに関するアンケート(結果速報)
<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/ir/>

学会のウェブページや各雑誌の投稿規程
許諾状況がわからなければ、個別に確認

2007.1.29 HARP第2回勉強会



出版社・学会	許諾条件
Elsevier	著者原稿
Blackwell	著者原稿(数ヶ月から1年のembargoあり)
Springer	著者原稿
Institute of Physics	著者原稿
British Medical Journal Publishing Group	出版社版
American Physical Society	出版社版
IEEE	出版社版
American Chemical Society	不可
Endocrine Society	不可



出版社版可

- 日本機械学会
- 日本独文学会(個々に申請が必要)
- 日本医療福祉設備協会
- 日本地理学会
- 日本音楽療法学会
- 日本生物工学会
- American Physical Society
- IEEE
- American Institute of Physics
- British Medical Journal Publishing Group

2007.1.29 HARP第2回勉強会



出版社版可論文の集めかた

- 雑誌名・著者所属を限定してデータベースを検索する。
CiNii, Web of Science, Scopus,
あるいは学会サイトのインデックスから
- 研究者の業績一覧から出版社版可能な雑誌を見つける。
- 著者を特定して連絡する。
許可はもらわなくても法的に問題はない。
- 電子ファイルをゲットする。
電子ジャーナルから・学会サイトから

2007.1.29 HARP第2回勉強会



CiNii（ファイル使用は要申請）

病院設備

Vol.47, No.6 (20051120) pp. 463-468
ISSN:0007764X

書誌情報

病院建築のライフスパン
The Life Span of Hospital Buildings

河口 豊¹
KAWAGUCHI Yutaka¹

¹ 広島国際大学 医療福祉学部



学会サイト

日本生物工学会 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り メディア

アドレス(D) http://www.nacos.com/sfbj/frame_sfbj04.html

Google 日本生物工学 検索 ブックマーク PageRank ブロック数: 154

ホーム 大会 問い合わせ

Synthetic biology:ありえた生命の構築…木賀 大介…(287)

バイオ電池によせる期待…丸山 雅史…(288)

細胞内の資源リサイクルとゴミ処理…新谷 尚弘…(289)

分子シャペロンはナノテクノロジーの進展も介添えする?…香田 次郎…(290)

Scopus などから

British Medical Journal

Volume 329, Issue 7461, 7 August 2004, Page 352

Document Type: Letter

[View references \(3\)](#)

[View at Publisher](#)

[Hiroshima University OPAC](#)

[1st Author SCIFUS](#)

Japan Tobacco Incorporated has found a new way of promoting tobacco in motor sports [5]

[Kawane, H.](#)

Japanese Red Cross, Hiroshima College of Nursing, 1-2 Ajinadai-higashi, Hatsukaichi City, 738-0052, Japan

Abstract

[No abstract available]

2007.1.29 HARP第2回勉強会



e-journal を見つける

BMJ

Helping doctors make better decisions

[BMJ](#) [BMJ Journals](#) [BMJ Careers](#)

Search

Institution: [Hiroshima University](#) | [Sign In](#)

[Research](#) [Education](#) [News](#) [Comment](#) [Topics](#) [Print Issues](#) [Interactive](#) [Resources for](#)

Home > Search > Results

Results 1-5 (of 5 found)

My search criteria:
kawane (anywhere in article)

standard / condensed citation format
10 / 25 / 40 / 60 / 80 results per page
best matches / newest first
Alert me when new articles matching this search are published
Save this search to my folders
Download all citations on this page to my citation manager

For checked items below: view abstracts in new window download to citation manager

- BMJ**
LETTERS:
Hiroshi **Kawane**
Tobacco advertising
BMJ, Mar 1996; 312: 705
.....Letters Tobacco advertising Hiroshi **Kawane** Cigarette advertisements are...BMJ 1995;311:1501. (2 December.) 2 **Kawane** H. The influence of the US tobacco...markets. N Engl J Med 1991;325:815. 3 **Kawane** H. Smoking among women in Japan. Lancet.....
 Journal Home
 Extract
 Full text
- BMJ**
LETTERS:
 Journal Home



その他の資料：講演資料

- 公開講演会はどなたでもおいていただけます。
- 申し込み不要・受講料無料です。

年度	春季	秋季
2006	4月26日 森塚氏(本学教授) 「万葉集の風土・明日香」	11月29日 田中直子氏(甲南大学教授) 「王朝(才女)のイメージ-中世から近代まで-」
2005	5月18日 佐藤恒雄氏(本学教授) 「俊成・定家・為家 三代の悲劇」	11月5日 前田富祺氏(日本語学会会長) 「お菓子の日本語文化史」
2004	5月19日 山本勝正氏(本学教授) 「『それから』の方法-「特殊人(オリヂナル)」としての代助-」	11月17日 鈴木日出男氏(成蹊大学教授) 「光源氏について」
2003	5月14日 藤河家利昭氏(本学教授) 「万葉集の風土・明日香」	11月15日 程原 修氏(広島大学教授) 「お菓子の日本語文化史」

「中世から近代まで」
講師 田中 直子氏
 (甲南大学 文学部 教授)
日時 2006年 11月 2
 (水)14時40分～
場所 広島女学院大学
 人文館 202号教室
受講料 無料
申し込み 不要
お問い合わせ先
 文学部事務室
 (日本語日本文学研究室)
 電話 (082)228-0386
 表)
 FAX (082)227-4502
 ★この講演は、大好評
 うちに終了させていただきました。



平成18年度
 国立情報学研究所
 教育研修事業
 国際シンポジウム

求められる図書館サービスと スタッフ・ディベロップメント

Library Services to be expected and Staff Development

西日本会場



本シンポジウムは盛会のうちに終了いたしました。多数のご参加ありがとうございました。

講演資料を[広島大学学術情報リポジトリ\(HIR\)](#)に掲載しました。(下記プログラムからもリンクしています。)

2006/11/14 (火) 13:30～17:30

広島大学中央図書館
 ライブラリーホール

(広島県東広島市鏡山1-2-2)

【主催】 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

【共催】 広島大学図書館、大阪大学附属図書館、
 東北大学附属図書館、広島県大学図書館協議会

【協賛】 中国四国地区大学図書館協議会、
 国立大学図書館協会中国四国地区協会、
 国立大学図書館協会九州地区協会

【後援】 国立大学図書館協会

プログラム

【講演】 [講演原稿\(原文及び和訳\)](#)



◎ Roles and Identity : Staff Development at
 Uppsala University Library

Sue Dodd
 (ウプサラ大学, スウェーデン)

[講演スライド・参考資料](#)



学術情報基盤の一翼を担う大学
 図書館の人材確保・育成を巡る

諸問題の中、スウェーデン、オーストラリア、ニュージー
 ランドからライブラリアンを招き、海外における大
 学図書館のスタッフ・ディベロップメントの現状と課



研究者へのアプローチ

19年度までは実験であることを明言

- 実際の画面を見せる方が効果的。
- 初期協力者を得る。
→本稼動後も協力してもらえそうな人を選ぶ。
- キーパーソン(紀要編集委員・広報的存在)。
- あらかじめ業績を調べて交渉。

2007.1.29 HARP第2回勉強会

